



www.taotronics.com

ASIA PACIFIC

E-mail: support.jp@taotronics.com(JP)

JP Importer: 株式会社SUNVALLEY JAPAN

〒104-0032東京都中央区八丁堀 3 丁目18-6PMO京橋東 9 F

EUROPE

E-mail:

support.uk@taotronics.com(UK)

support.de@taotronics.com(DE)

support.fr@taotronics.com(FR)

support.es@taotronics.com(ES)

support.it@taotronics.com(IT)

EU Importer: ZBT International Trading GmbH

Address: Halstenbeker Weg 98C, 25462 Rellingen, Deutschland

NORTH AMERICA

E-mail:

support@taotronics.com(US)

support.ca@taotronics.com(CA)

Tel: 1-888-456-8468 (Monday-Friday: 9:00 - 17:00 PST)

MANUFACTURER

Manufacturer: Shenzhen NearbyExpress Technology Development Co.,Ltd.

Address: 333 Bulong Road, Shenzhen, China, 518129

Learn more about the EU Declaration of Conformity:

<https://www.taotronics.com/pages/user-manual>



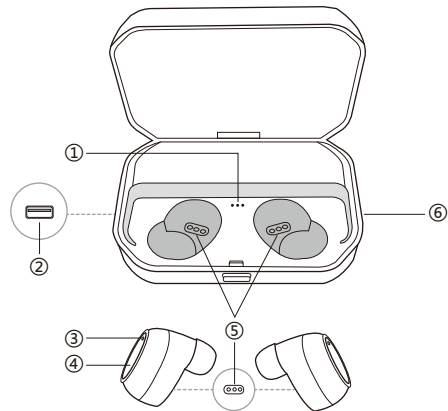
01-20-2020
TT-BH052_V1.3



Model: TT-BH052
TaoTronics True Wireless Stereo Earbuds
User Guide

CONTENTS

English	01/06
Deutsch	07/13
Français	14/20
Español	21/27
Italiano	28/34
日本語	35/40



JP

製品図

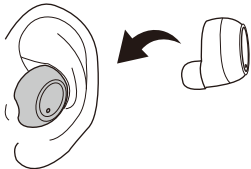
1. 充電表示
2. USB出力ポート
3. LED表示
4. タッチコントロール
5. 充電面
6. マイクロUSB入力ポート

警告:

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。本製品を高温な車内を長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。

内容物

- ・1 x 充電ケース
- ・2 x イヤホン
- ・1 x USB充電ケーブル
- ・8 x イヤピース (2つは本体装着済み)
- ・1 x 取扱説明書

使い方**イヤホンの装着方法****充電****イヤホンへの充電**

イヤホンを充電ケースに正しく装着すると、自動的に充電が開始します。充電中はLEDライトが青く点滅になり、充電が完了すると消灯します。充電切れの状態で約1時間の充電で2.5時間 (MAX) の使用が可能です。

充電ケースへの充電

出力5V/1AのAC充電アダプターに付属のmicro USB充電ケーブルを繋いで、本品の充電ケースに充電できます。充電中は充電ケースにあるLEDランプが1つから3つまで青く点滅し3つのランプとも点灯になったら (満タンまで約4.5時間位)、充電完了します。

注意:

- ・誤動作を避けるためにUSB端子を無理に引っ張らないでください。
- ・本製品をお使いになる前に、充電ケースとイヤホンを事前に充電する必要があります。

本製品が充電切れの状態で長時間使用しない場合、内蔵されている電池の性能を低下させてしまう可能性があります。本製品を長期間放置する場合は、目安として最低でも月に1回は本品への充電が必要です。

初回のご使用

- ・初期設定は両耳モード

(この内容に該当しない場合、本マニュアルに記載されているリセット方法を行っ

てください)

- ・充電ケースからイヤホンを取り出したら、左右イヤホンが自動的にペアリングされます。
- ・左右イヤホンが自動ペアリング完了したら、左イヤホンが素早い速度で青と白交互に点滅になり、右イヤホンが白く点滅になります。
- ・ペアリングしたい機器のBluetooth機能を有効にし、近くの機器を検索してください。“TaoTronics TT-BH052”が検索画面上に表示されたら、タップし接続してください。ペアリング完了の状態は、左右イヤホンが5秒に白で点滅します。

ご注意:

※両耳モードで左イヤホン単独(右イヤホンをケースに入れたまま)使用可能ですが、右イヤホン単独では使用できません。(右イヤホン単独使用したい場合、片耳モードへの切り替え方法をご参照ください。)

両耳モードの機能&操作

※片耳モード(左右単独使用の場合、機能&操作は同じ)での操作は、「2回タッチ曲戻し可能、曲送り不能」「音量調整不能」「1回タッチ電話に出る可能」「2秒長押し電話拒否不能」

機能	操作方法
通話開始 / 通話終了	左/右耳のタッチコントロールを1回タッチしてください
通話拒否	左/右耳のタッチコントロールを2秒間長押ししてください
前に戻る	左耳のタッチコントロールを2回タッチしてください
先に進む	右耳のタッチコントロールを2回タッチしてください
再生/一時停止	左/右耳のタッチコントロールを1回タッチしてください
ボリュームを下げる	左耳のタッチコントロールを3秒間長押ししてください
ボリュームを上げる	右耳のタッチコントロールを3秒間長押ししてください
音声コントロールのオン/オフ	ペアリング完了後、左/右耳のタッチコントロールを、ビープ音が聞こえるまで2秒間長押ししてください

初期化(端末との再ペアリング)

イヤホンがペアリングできなくなった時や片耳からしか聞こえなくなった時は以下の方法でイヤホンをリセットしてください。

近距離(1メートル以内、無障害物)内で操作してください。

- 1.お使いの端末から「TaoTronics TT-BH052」のペアリング履歴を全て削除します。
2. 左右のイヤホンを充電ケースに入れ、左右のイヤホンのタッチコントロールを別々に3回タッチします。左右のイヤホンが3回白に点滅します。
3. 左右イヤホンを充電ケースから取り出してください。(LED表示ライトがはっきり見えるよう)左右イヤホンのタッチコントロールを同時に白と青が交互に点滅するまで5秒間押しつづければ、左右イヤホンがペアリング中の状態になります。しばらくすると、左イヤホンが白と青交互に点滅、右イヤホンが白に点滅します。
4. ご使用の端末のBluetoothをオンにして、接続可能なデバイスからTT-BH052をタップして、ペアリング完了させます。ペアリングが成功の場合左右イヤホンが5秒置きに、白に点滅します。

※両耳モードで左イヤホン単独(右イヤホンをケースに入れたまま)使用可能ですが、右イヤホン単独では使用できません。

片耳モードに切り替える方法

【左右イヤホンを別々に2つのデバイスとペアリングする方法】(例えば:左をAのスマホに、右をBのスマホに)

1. 左右イヤホンをケースに入れたまま、左右イヤホンのタッチコントロールを(同時ではなく、別々に)3回タッチします(リセット完了)
2. 右(左)イヤホンを充電ケースから取り出し→タッチコントロールを白青相互点滅まで5秒間押し(ペアリングモード)になります→スマホのBluetoothをオンにして、接続可能なデバイスからTT-BH052をタップします→ペアリング完了します

警告

- ・本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。腐食性の液体に近づけないでください。故障する恐れがあります。
- ・極端な高温・低温でのご利用を避けてください。
- ・小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。
- ・誤動作や感電を避けるため、雷雨の日に製品を使用しないでください。

Q&A

質問: 充電ケースが充電できません。

回答: 他の充電ケーブル及び充電アダプタに替えて、本製品を充電してみてください。

質問: イヤホンのシグナルが不安定で、イヤフォンから音がしません。

回答: 本マニュアルに記載されているリセット方法をお試しください。

なお、Bluetooth電波の飛び交う駅などの環境で利用すると、接続が不安定になる場合もありますので、安定した環境での使用には改善されるかご確認ください。

質問: “TaoTronics TT-BH052”が2つ検索結果に表示されます。

回答: 両耳モードと片耳モード、2つ表示されていてそれぞれが独立して動作しているのです。表示から区別できないため、両方を削除し、改めて検索しペアリングしてください。

質問: 音が鮮明ではありません。

回答: 携帯のボリュームを少しずつ上げ、イヤフォンと携帯を近距離で使用してください。

質問: 片耳モードで片側のイヤホンと同時に2台のスマホとペアリングしたいのですが、どうしたらいいですか。

回答: 1台目とペアリング完了されたら、1台目のBluetooth機能をオフにします。2台目のBluetooth機能をオンにして、ペアリングしたら、1台目のBluetooth機能をオンにしてください。2台同時にペアリング完了します。

質問: イヤフォン同士の接続可能距離はどれくらいですか？

回答: 約3メートルです。

質問: マイクがついてますか？

回答: 両耳ともマイクが付いております。両耳モードの場合は、左耳だけのマイクが使えます。片耳モードの場合は、両方とも通話できます。

 EN The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sunvalleytek International Inc. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

DE Die Marke Bluetooth® und das Bluetooth Logo sind eingetragene Markenzeichen der Bluetooth SIG, Inc. und jegliche Verwendung dieser Marke durch Sunvalleytek International Inc. ist lizenziert. Die Rechte an anderen Markenzeichen liegen beim jeweiligen Eigentümer.

FR Le terme et les logos Bluetooth® sont la propriété de Bluetooth SIG, Inc. et toute utilisation de ces marques par Sunvalleytek International Inc. se fait sous licence. Les autres désignations commerciales et marques mentionnées sont détenues par leur propriétaire respectif.

ES La marca Bluetooth® y los logotipos son de propiedad de Bluetooth SIG, Inc. y se encuentra autorizado cualquier uso de estas marcas por parte de Sunvalleytek International Inc. Otras marcas y nombres comerciales son aquellas de sus respectivos propietarios.

IT La parola e i loghi Bluetooth® sono marchi di fabbrica registrati di proprietà di Bluetooth SIG, Inc. e qualsiasi utilizzo di questi marchi da parte di Sunvalleytek International Inc. avviene su licenza. Gli altri marchi di fabbrica e nomi commerciali appartengono ai rispettivi proprietari.

JP Bluetooth®のワードマークおよびロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Sunvalleytek International Inc.はこれらのマークおよびロゴをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause harmful interference, and(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



WEEE Compliance

Correct Disposal of This Product (Waste Electrical & Electronic Equipment)
(Applicable in countries with separate collection systems)

This marking on the product, accessories or literature indicates that the product and its electronic accessories should not be disposed of with other household waste at the end of their working life. To prevent possible harm to the environment or human health from uncontrolled waste disposal, please separate these items from other types of waste and recycle them responsibly to promote the sustainable reuse of material resources. Household users should contact either the retailer where they purchased this product, or their local government office, for details of where and how they can take these items for environmentally safe recycling. Business users should contact their supplier and check the terms and conditions of the purchase contract. This product and its electronic accessories should not be mixed with other commercial wastes for disposal.